
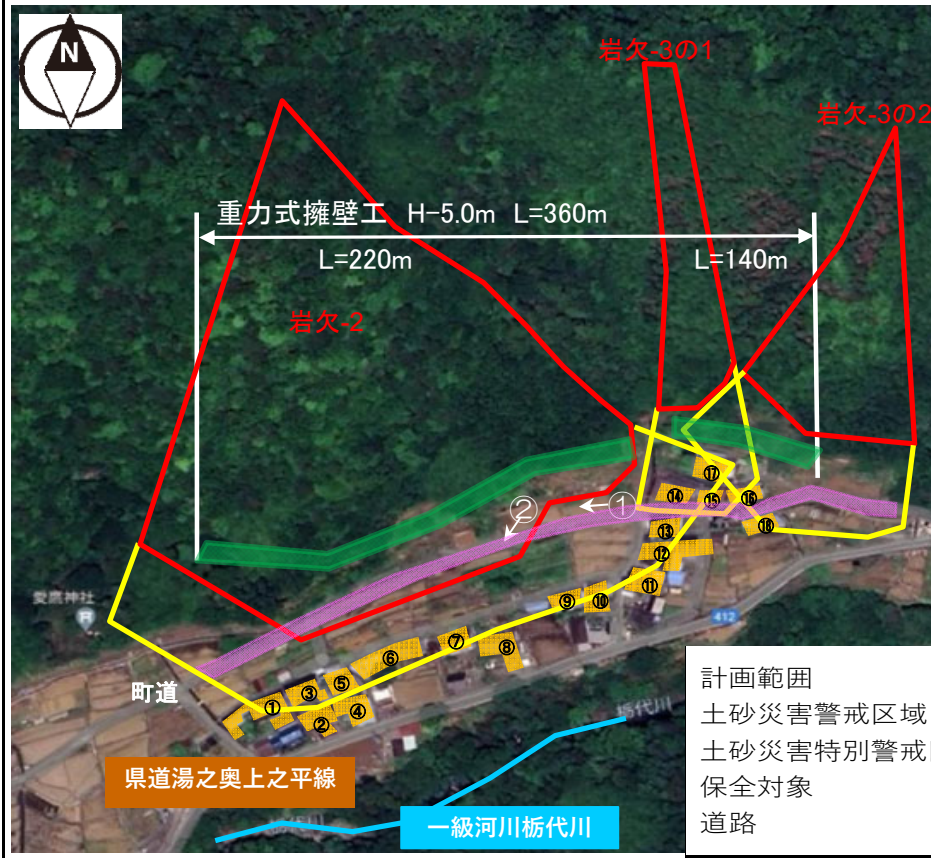


1. 事業説明シート

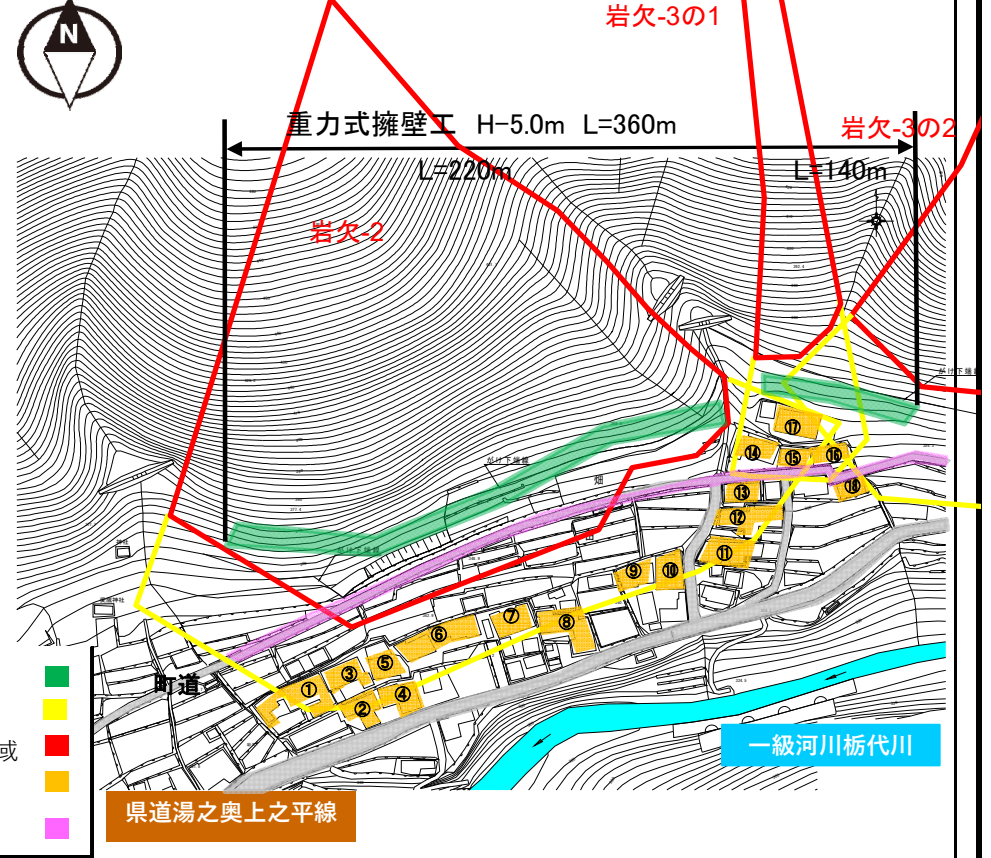
<p>事業名</p>	<p>急傾斜地崩壊対策事業[急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]</p>	<p>事業箇所</p>	<p>南巨摩郡身延町岩欠</p>	<p>地区名</p>	<p>岩欠 (イワカケ)</p>	<p>事業主体</p>	<p>山梨県</p>																																						
<p>(1) 事業の概要</p> <p>①課題・背景 岩欠地区は山梨県南部の南巨摩郡身延町に位置する急傾斜地であり、平成21年2月23日に土砂災害警戒区域・土砂災害特別警戒区域に指定されている。 当該斜面は平均斜面高123m、平均勾配39度の急傾斜地であり、保全対象は、人家18戸、町道L=272mがあり、当該斜面が崩壊した場合には、人命に影響ある災害が発生する恐れがあるため、事業の実施が急務である。</p> <p>②整備目標・ □主要目標 ○崖崩れ被害の防止 ・災害実績：無 ・保全対象：人家18戸 > 5戸以上※ ・重要公共施設の有無：無 (保全対象=人家18戸、町道 L=272m) ※評価基準値</p> <p>□副次目標 - □副次効果 -</p>				<p>(3) 事業の妥当性評価</p> <p>①公共関与の妥当性 (行政が行うべき事業か) 妥当 妥当でない 急傾斜地法第12条に基づいており、行政が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>②事業執行主体の妥当性 (県が行うべきか) 急傾斜地法第12条により、県が行うことが妥当。 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <p>③経済妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/></p> <table border="1" data-bbox="1120 454 1982 670"> <tr> <td>総事業費</td> <td>510 百万円</td> <td>工期</td> <td>R7~R16</td> <td>基準年</td> <td>R6</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">経済効率性</td> <td>費用</td> <td>406 百万円</td> <td>便益</td> <td colspan="2">1517 百万円</td> </tr> <tr> <td>建設費</td> <td>405 百万円</td> <td>一般資産被害抑止</td> <td colspan="2">522 百万円</td> </tr> <tr> <td>維持管理費</td> <td>1 百万円</td> <td>人身被害抑止</td> <td colspan="2">71 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>公共土木施設等被害</td> <td colspan="2">22 百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>その他※</td> <td colspan="2">902 百万円</td> </tr> <tr> <td colspan="3">B/C</td> <td colspan="3">3.7</td> </tr> </table> <p>※その他は応急対策(家計)、人的被害(精神的損失) 費用便益比 (B/C) は、国の採択基準1.0を超えている。</p>				総事業費	510 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6	経済効率性	費用	406 百万円	便益	1517 百万円		建設費	405 百万円	一般資産被害抑止	522 百万円		維持管理費	1 百万円	人身被害抑止	71 百万円				公共土木施設等被害	22 百万円				その他※	902 百万円		B/C			3.7		
総事業費	510 百万円	工期	R7~R16	基準年	R6																																								
経済効率性	費用	406 百万円	便益	1517 百万円																																									
	建設費	405 百万円	一般資産被害抑止	522 百万円																																									
	維持管理費	1 百万円	人身被害抑止	71 百万円																																									
			公共土木施設等被害	22 百万円																																									
			その他※	902 百万円																																									
B/C			3.7																																										
<p>(2) 整備内容</p> <p>①整備内容 重力式擁壁工 H=5.0m L=360m</p> <p>②着手年度 令和7年度 ③完成見込年度 令和16年度</p> <p>④総事業費 約510百万円 (国費229.5百万円(4.5/10)県費229.5百万円 (4.5/10)その他51.0百万円(1.0/10))</p> <p>⑤年度別の整備内容 (事業費)</p> <table border="1" data-bbox="257 1037 1008 1157"> <tr> <td>令和7年度</td> <td>地形測量、地質調査、詳細設計</td> <td>30 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和8年度</td> <td>用地測量、用地取得、立木補償</td> <td>10 百万円</td> </tr> <tr> <td>令和9~16年度</td> <td>重力式擁壁工</td> <td>470 百万円</td> </tr> </table> <p>※記載内容は見込みであり、確定したものではない。</p> <p>⑥既整備内容・期間・事業費 ・未整備</p>				令和7年度	地形測量、地質調査、詳細設計	30 百万円	令和8年度	用地測量、用地取得、立木補償	10 百万円	令和9~16年度	重力式擁壁工	470 百万円	<p>④事業実施・規模の妥当性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形状況を考慮し、必要最低限の規模とした。</p> <p>⑤整備手法の有効性 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地形・地質状況から急傾斜地対策として最も効果的かつ経済的な施設計画とした。</p> <p>⑥環境負荷等への配慮 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 環境負荷の少ない工法を採用するとともに、必要最小限の掘削とした。</p> <p>⑦事業計画の熟度 <input type="radio"/> <input type="checkbox"/> 地元要望に基づいており、身延町から受益者負担金の同意は得られている。</p> <p style="text-align:center">総合評価</p> <p style="text-align:right">[貢献度ランク：b]</p> <p>(4) 事業位置図等</p> 																																
令和7年度	地形測量、地質調査、詳細設計	30 百万円																																											
令和8年度	用地測量、用地取得、立木補償	10 百万円																																											
令和9~16年度	重力式擁壁工	470 百万円																																											

2. 添付資料シート

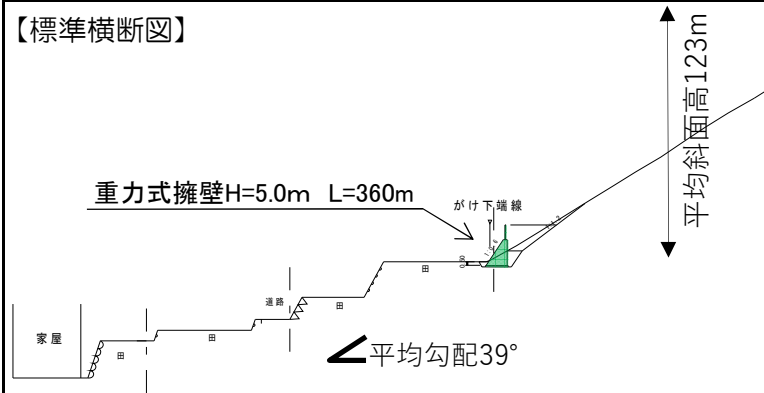
【斜面鳥観図】



【平面図】



【標準横断面】



①保全対象(人家)



②斜面状況

